

## フェニックス市—姫路市 姉妹都市青少年交流 40 周年記念事業

# フェニックス写真展

姫路市の青少年交流は、1980 年にアメリカ・フェニックス市に 10 名の高校生を派遣したときに始まりました。それ以降、徐々に交流の輪を広げ、今までに様々な海外姉妹都市に中高生を派遣してきました。

今年は、姫路市が海外姉妹都市と青少年交流を開始してから 40 周年の記念すべき年です。それを記念するとともに、フェニックス市をもっと見近に感じていただくために、11 月 9 日(月)から 11 月 15 日(日)まで、ゆめタウン姫路 1 階で、フェニックス市と同市があるアリゾナ州の写真展を開催しました。また、14 日(土)・15 日(日)にはワークショップ「ドリームキャッチャーを作ろう!」を開催しました。



写真展には、主に今までの派遣生が現地で撮影したフェニックス市の風景や、ホストファミリーと出かけた州内の観光地の写真を展示しました。また、アリゾナ州とフェニックス市の概要をはじめ、現在に至るまでの青少年交流の経緯や、フェニックス市の青少年交流担当者の写真、派遣生 OB が長年交流を続けているホストファミリーと撮った写真も展示し、青少年交流を紹介しました。

写真展開催中は、青少年交流事業を知らなかったたくさんの方々にも、足を止めて見ていただくことができました。



ワークショップには、2日間で延べ 35 名が参加され、それぞれが素敵なドリームキャッチャーを作りました。派遣生 OB も手伝いに来てくれたので助かりました。

参加者からは、面白かった、難しかったけどまた作りたい、ドリームキャッチャーの意味を知らなかったなどの感想が寄せられました。ドリームキャッチャーは、ネイティブアメリカンに伝わる、悪い夢を捕まえるとされている魔除けです。アリゾナ州にはたくさんのネイティブアメリカンが住んでいます。

ワークショップは異文化理解を促進する良い機会となりました。

